

横浜市社会福祉センター指定管理者選定評価委員会 第三者評価 第1回会議 会議録	
日 時	令和2年 11 月 12 日(木) 午前 10 時～11 時 45 分
開催場所	横浜市社会福祉センター 9階 904 会議室
出席者	平野委員、木村委員、朝田委員、須山委員、吉原委員
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者なし)
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員長の選出 2 職務代理者の選出 3 会議の公開及び議事録等の公開について 4 第三者評価の実施について 5 施設概要について 6 評価項目について 7 今後の日程について 8 施設の視察
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 本日の会議は公開とする。 2 評価項目(案)は一部修正する。 3 第2回の会議は公開とする。
議 事	<p>質疑要旨</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 委員長の選出 <ul style="list-style-type: none"> ・吉原委員より平野委員の推薦があり、了承された。 2 職務代理者の選出 <ul style="list-style-type: none"> ・平野委員長より吉原委員の指名があり、了承された。 3 会議の公開及び議事録等の公開について <ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議は、特に非公開にすべき事由がないため、公開で行うことでした承された。 4 第三者評価の実施について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料3に沿って説明 5 施設概要について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料4に沿って説明 6 評価項目について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料5に沿って説明 <p>(平野委員長) 施設の専門性というところで指定管理者の横浜市社会福祉協議会が行っていることと指定管理者の業務では密接に連携している部分があるが、今回は資料5-2にある、今回の評価対象業務を中心に確認していく。</p> <p>(平野委員長) ウィリング横浜の選定評価委員会でコロナウィルス感染予防について何か評価の確認の必要があるとの意見があり、感染予防について確認する項目を作ることとなった。施設管理で共通すると思われるので、(社会福祉センターも項目を作る必要があると思うが、)委員会と事務局で確認をした項目を皆様にお伝えすることとしたい。</p> <p>(木村委員) IV(4)④について、紙媒体だけではなく、電子帳簿についても記載があるとよい。</p> <p>(事務局) 現状としては紙のものがあるということで将来的には電子帳簿も入れていきたい。</p> <p>(吉原委員) 評価基準は、標準的ラインでいいのか、それとも成果・事例があるような評価がいいのか。今回は社会福祉協議会が管理している施設なので少し高い評価基準を設定したほうがいいのか。</p> <p>(平野委員長) 客観的・多角的な視点から評価をするのが目的ということであり、専門性について、どのようにヒアリングや文章で示してもらおうか、それをどのように評価するのかというのを考え、確認したい。</p> <p>(事務局) 第三者評価の目的は指定管理者にとって気づきのきっかけとし、自ら業務改</p>

善をやっつけようと思わせることがポイントになる。評価できる点というところでは指定管理者の独自の工夫・評価できる取組というのを聞く・見せてもらう。逆に評価項目に関して不備があったということがあればそのあたりを改善要請、また前向きな視点からの意見などをいただくと、今後役に立つと思われるので、そのあたりを踏まえて評価をしていただきたい。

(事務局) 社会福祉センターの管理運営を、指定管理者である横浜市社会福祉協議会が行っている一方で、社会福祉協議会固有の業務もある。かつて監査で、貸館の部分とボランティアセンター部分を分けるべきと指摘をいただいた。

場所を貸すだけでなく、場所を貸すことを通じて繋がりや場を生かした取組を行っていくために、ボランティアセンターと連携した取組がこの社会福祉センターには必要ということが結論となっている。そのため、場を生かした展開をどう見せていくのか意識してほしいと考えている。

そのような視点も考慮しつつ、前向きな視点で、最終的には利用者の方々にプラスになるような運営をしてもらうため、前向きな視点で、指定管理者である市社協に対して色々な意見をいただきたい。

(平野委員長) 資料4の4、事業内容ということで施設の利用・維持管理に加え社会福祉に関する相談支援、これを切り離すという議論が過去にあったが、この社会福祉の支援というものも場があって初めて成り立つ業務であり、施設管理も含めて行うということで、そのボランティア活動を広める・啓発やボランティア育成をしていくということや、場を生かした取組というのを意識しながらヒアリングができればよく、そのなかで質問にあったような特筆した部分を評価する。あわせて不備がある場合はそれを指摘しながらより良いものに変えていければという内容でよいか。

(須山委員) 利用者の目からの意見もあると思うが、過去にこういう点が問題になったというのが今話されたがそういうことが分からないので、可能であれば過去にあった問題点をデータで資料として入れていただくと注意して確認ができる。

(事務局) 先ほどの監査のあり方検討について資料を提供します。

今回の評価は、現在の第4期指定管理期間における評価時点の状況です。必要に応じて、平成30年度、令和元年度も対象期間とします。

(平野委員長) 利用者の立場でご発言いただくと、先ほどの目的のところに至るので、ぜひお願いしたい。

では、評価項目について今の御意見をもとに、事務局と委員長と確認をしたものを、皆さんに示していくということによいか。

(一同) 了承

～10分休憩～

(平野委員長) 次第5、評価項目について一つがコロナの感染予防。23ページの収支決算の表し方、24・25の専門性特に場を生かした取組という意見があったので、事務局と委員長で内容を追記・修正後改めてお示しさせていただきたいが、よいか。

(一同) 了承

7 今後の日程について

・事務局から資料6に沿って説明

(平野委員長) 今回のこの評価項目をもとに、市社協が指定管理者として、自己評価をし、その自己評価に対する評価案について2月に委員会を開催する。

・第2回の会議は、特に非公開にすべき事由がないため、公開で行うことで了承された。

・第2回会議の日程については後日調整する。

(木村委員) オンラインでの開催はどうだろうか。今すぐでなくても検討はできないか。

(事務局) 地域福祉の取組は対面が中心であり、今回は地域福祉の取組を評価するということが多いことから、直接集まることを基本にしつつも、将来的にはオンラインも

	<p>選択肢の一つということ考えていきたい。</p> <p>8 施設の視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者の案内で、社会福祉センター内の施設を視察 ・ 視察中、委員の質問に対し指定管理者から随時回答
資 料	<p>資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市社会福祉センター指定管理者選定評価委員会 委員名簿 2 横浜市社会福祉センター指定管理者選定評価委員会運営要綱 3 第三者評価の実施について (参照)横浜市指定管理者第三者評価制度運用指針 4 横浜市社会福祉センターの概要 5-1 横浜市指定管理者第三者評価制度 社会福祉センター評価シート (案) 5-2 ボランティア関係業務について 6 横浜市社会福祉センター指定管理者第三者評価実施スケジュール

横浜市社会福祉センター指定管理者選定評価委員会 第三者評価 第2回会議 会議録	
日 時	令和3年3月 24 日(木) 午後 13 時 30 分～15 時
開催場所	横浜市社会福祉センター 8階8A・B 会議室
出席者	平野委員長、木村委員、朝田委員、須山委員、吉原委員
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者なし)
議 題	1 会議の進行について 2 評価(案)の記述について 3 指定管理者へのヒアリング、書類閲覧 4 評価の審議 5 次回委員会の公開・非公開について 6 今後の日程について 7 評価シートの提出について
決定事項	1 本日の会議は公開とする。 2 本日のヒアリングと審議を元に評価シートに評価を記入し、事務局へ提出する。 3 第3回の会議は公開とする。
議 事	<p>質疑要旨</p> <p>1 会議の進行について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局から会議の進め方について説明 (朝田委員) V～VI についてのみが、話し合う対象になるのか? (事務局) すべての項目について意見を出していただいて問題ない。説明に関しては時間の制約もあるので V～VI についてのみ詳しく説明をさせていただく。ヒアリング・質問等はすべてが対象となる。 <p>2 評価(案)の記述について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局から資料 1 に沿って説明 指定管理者からのホームページ・Facebook の説明 <p>3 指定管理者へのヒアリング、書類閲覧</p> <p>(吉原委員) I の利用者サービスの向上にある ICT の活用について、オンライン環境は、無線 Wi-Fi を使用すると思うが、現在 Zoom を活用することが増えているので、市民協働支援センターでも有線の工事を行ったりした。また、パソコンも古いと対応できないため、オンラインにふさわしい環境を整備することが必要と考える。</p> <p>コロナ対応の衛生管理について、部屋ごとに半自動の噴射式の消毒液の設置や部屋の消毒用グッズ等の徹底した衛生管理が必要だと思う。費用は掛かると思うがどうか。</p> <p>(事務局) ICT 活用に関しては、Wi-Fi の環境は元から整備されているが、講座の際などの複数同時アクセスがあると環境が不足していたため、令和 2 年度に環境整備の強化を行ったと聞いている。</p> <p>コロナの衛生管理に関して噴射式のものは経費が掛かるので、指定管理者とまた相談したい。消毒については行われており、貸室の消毒に関しても利用者に協力をさせていただきながら行っていると聞いている。</p> <p>(指定管理者) 1 月に Wi-Fi 環境の整備を行った、各階 100 名までは同時接続が可能。15 名ほどが集まり、同時に使ったが問題なく使うことができた。引き続き整備はしていきたい。</p> <p>団体から有線接続をしたいという依頼もあり対応した。</p> <p>感染対策に関しては消毒用具と写真付きマニュアルをまとめたボックスを渡しており、消毒のお願いをしている。非接触型の体温計も入っている。消毒に関して市と話したのがトイレの便座の清拭するものも検討した。予算が付けば順次入れていきたい。</p> <p>(平野委員長) 感染症対策は横浜市・管理団体との調整により進めていると分かった。</p>

(朝田委員) まず一点、Ⅱの施設利用にあたって安心安全に利用いただくというのが大前提という一文があるが、3年前に4階ホールの排気口につまづいて重傷者が出たという事故が発生したにもかかわらず、その後の対応について、事故の原因となった排気口部分にはテープが周りに貼ってある程度の警告で、注意書き等もなく利用者の安心安全な利用には足りないのではないかと。周知の徹底が最大の事故防止につながると思う。

(指定管理者) その後、換気口にテープで目立たせるという措置をした、また実際にホールを利用する団体と打ち合わせ時にお知らせをしている。ご意見の通り、初めて利用する方も多くいるので、館内表示や広報物で注意喚起をしていきたい。

(平野委員長) では、評価シートの中に事故が起きないように安全確認についての記載をしていきたいと思う。

(吉原委員) もう少し検証をした方がいいと思う。排気口はなくせないと思うので、困ってしまうなどの安全対策をするべきと思う。

(朝田委員) 2つめ、Ⅲの緊急時対応について、視覚障害者と共に作業をしているときに地震が起きた場合、ボランティア側が視覚障害者たちの避難・誘導ができるのか、不安が残る。ボランティア側に防災マニュアルのようなものは用意できないか。

(指定管理者) 職員の方では防災マニュアル等はあるが、ボランティアの皆様については、これまで利用団体交流会を年に1回行っており、前回はこの建物で災害が起きた想定での視覚障害者の避難誘導というテーマであった。今年度は聴覚障害について行う予定であった。年に1回だと参加できない場合、伝わらないため、そこで使った資料などを活用して情報提供をできればと思う。

(平野委員長) 施設の特質・専門性を生かした運営については何か無いか。

(吉原委員) ホームページを見たが、現代にあったデザインのものを検討してはどうか。もっと写真や動画を使うことで見やすく・分かりやすいものに作り直す予定は無いのか。予算は掛かると思うが、利用しやすいホームページにするというのは、今が好機であると思う。

(指定管理者) ホームページ、Facebook等SNSについては今も取り組んでいる。文字だけではないものにも手を付けており、社協として広報・検索のしやすさ等が今話題になっている。人事のほうは専門学校生作成のものを取り入れるなどしている。職員が作るとどうしても同じようなものになってしまう。今後、より見やすくできればいいと思う。

(朝田委員) 利用者団体交流会については、同じ建物を使っている会うことがなかった人たちと出会えるいい機会であったが、参加者が少なく残念だったので、もっとお知らせに力を入れてほしい。

(指定管理者) 交流会は多くの方に参加してほしい、周知は、直近3か月以内に活動された方に周知をしていて約100団体ほどであるが、参加率が10~20名程度と低い。

案内文による周知やホームページを利用して募集をかけているが、早めの周知や幅広く興味を持たれるテーマを用いたりすることを考えている。

<<休憩 10分間>>

(須山委員) 防災関係について聞きたい。聴覚障害者は、訓練があったとしてもサイレンが聞こえない。電光掲示板を多く設置してほしい。緊急連絡も可能であり、視認ができるので聴覚障害者はとても助かる。

それから、Zoomを使う際、無線LANが時々落ちる。またプロジェクターは借りることができるが、パソコンを借りることができない。貸出可能にできないか。

(指定管理者) 防災の電光掲示板については、あるとよいが費用もかかるので、市と相談したい。現状としては、職員が定期的に館内を見回っている。避難の必要の有無の伝達は個別に各部屋に職員が伝えている。聴覚障害の場合は筆談ボードを使う・印刷物を使うなど団体に伝わるように対応している。

(吉原委員) Zoom・通信環境について、補足したい。契約上100人が使えたとあっても、

実際は 1/10 程度であり、快適に使うには固有の回線を引く必要がある。私たちの施設では災害時にも備え、大型の回線を新たに引いた。端末についてもスペック不足があったため買い直した。オンラインイベントが失敗にならぬよう、端末を購入し、貸し出すなども行っている。現在 Zoom が普及しており、職員たちが Zoom を使いこなし、そのうえで利用者が安心して利用できる環境を作らないといけないのではないかと。

(須山委員) Wi-Fi を使える環境はどの程度あるのか、この階の会議室だけなのか。

(指定管理者) 8階・9階であればそれぞれの階に機器を設置しており全室利用可能である。また、貸出用のパソコンは横浜市と相談して購入できればと思う。

4 評価の審議

(平野委員長) 25・26 ページの評価機関の記述の中で不足している点という点があるが、一方 28 ページでは不足している点ではなく評価機関からの提案となっている。

25・26 ページをみるとさらなる活用・今後の展開などがあるので評価機関の提案という形に合わせてはどうかと思う。ほかに追記や確認したいところはあるか。

(吉原委員) 事務局に予算の裁量権について聞きたい。今回評価したものが指定管理者の創意工夫によって年度途中で可能かどうか。

(事務局) 表示用のパソコンについて市と協議という話があったが、比較的大きくない金額のものは通常の事業費で対応していただくことを想定している。コロナによって想定外の利用料金の減少等があり、地区センターなどは補填を行ったが、社福センターは補填もなく創意工夫で乗り切った。

(木村委員) このビルについて老朽化しているが建て替えの予定はないのか。

(事務局) 現在予定はない。長寿命化・保全の投資は横浜市が維持管理している。指定管理料に修繕などの金額も入っているが、大規模なものは横浜市で予算措置をしている。

(吉原委員) 評価について、不足している点という記載方法の場合書いていないと 100 点満点という扱いに受け取れてしまう。福祉サービスという観点から高みを目指す場合は、不足点よりも自己評価の振り返りや第三者からの提案のほうが信頼できるのではないかと。

(事務局) その通りで、新たに求める事業展開については課題とまでは言えない。ゴールというのは地域福祉推進であり終わりなく目指して欲しい。

一方、施設の管理運営は、安心・安全があつてこそであるので、先ほど委員から指摘のあった事故の対応を含め、市としてもしっかりと関わっていききたい。

(吉原委員) 先ほどの事故当時の対応や、指定管理者から市への報告状況などについては改めて確認をする必要がある。

(事務局) 指定管理者と市で確認する。

(平野委員長) 安心・安全は当たり前のようになっていて、毎日行うというのはとても難しいことであると感じた。それに向けて努力を常に意識していかないといけない。それをこの評価の中に記入できればと思う。「不足している点」「課題」という表記について「社協としての課題」「指定管理者としての課題」というものが重なっている部分もある。第 3 回でどのような表記にするべきなのかというのを確認していければと思う。

(須山委員) 提出しないといけない評価シートは案というものに記入することだが今回の配布物とは別にあるのか？それとも似たようにして自分で作成すればいいのか？

(事務局) このシートに手書きでもよいし、データをお送りするのでデータを修正していただいても構わない。修正方法はメールでお知らせする。

5 次回委員会の公開・非公開について

(平野委員長) 次回第 3 回の委員会は意見をもとに評価シートの修正案を議論していく、非公開とする理由がないので同様に公開で行う。

	<p>6 今後の日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料2に沿って説明 ・評価の確認の際には以前渡したファイルの資料を参考にさせていただく。 <p>7 評価シートの提出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月14日までに郵送・又はメールにより提出。案内については別途お伝えする。
資 料	<p>資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 【第2回資料】社福センター 評価シート(案) 2 横浜市社会福祉センター指定管理者評価実施スケジュール

横浜市社会福祉センター指定管理者選定評価委員会 第三者評価 第3回会議 会議録

日 程	令和3年9月
開催場所	書面開催
出席者	平野委員長、木村委員、朝田委員、須山委員、吉原委員
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者なし)
議 題	<p>1 評価報告書の審議 (1) 評価報告書(案)について (2) 評価シート(案)について</p> <p>2 今後のスケジュールについて</p>
決定事項	<p>1 評価報告書については修正なし</p> <p>2 評価シートの2ページ II 施設・整備の維持管理 一文中に二度「今後も」があるため、13行目の「今後も」を削除する。</p> <p>3 今後のスケジュールについて 資料1のとおり</p>
議 事	<p>1 評価報告書の審議</p> <p>委員からの意見など</p> <p>吉原委員 評価シートの2ページ II 施設・整備の維持管理 「11行目「今後も」と13行目「今後も」は、どちらかで良いように思います。」</p> <p>平野委員長 新型コロナウイルス対策やその他の項目に記載のあるWiFiや専用回線などは、お金がかかるかもしれませんが、この提案をもとに予算化につながるきっかけになればありがたいです。 また、施設を安全に使うという点もあらためて大切にしたい点と思いました。</p> <p>吉原委員 評価委員会で議論された内容が余すところなく記載されており、適切な評価と考えます。</p>
資 料	<p>資料</p> <p>1 今後のスケジュール 2 評価報告書(案) 3 評価シート(案)</p>